



## ビラの効用

昔から、職場新聞やビラは組織化活動に有効な道具でした。最近は同じ目的でメーリングリストやフェイスブックのグループを活用するオーガナイザーが多くいます。

忘れてはならないのは、紙媒体であろうと電子媒体であろうと、それはあくまでも組織化の道具であり、生身の組織化活動に代わるものではないということです。休憩室のテーブルの上にビラを積み上げたり、フェイスブックにリンクを貼ったりするだけでは組織化は遠くに進みません。どんなに素晴らしい記事だったとしても、あるいはネットでの情報拡散、SNS上の近況更新、新聞だったとしても、効果を発揮するのは、それが同僚との間で生身の対話をする際のきっかけとなった場合が多いのです。

ビラの活用法は以下のとおりです。

- ・対話の機会を作る

「ねえ、これ見た？これについてどう思う？」

- ・問題提起に目を向けさせる

特にある同僚が、別の同僚がビラを読んでいる姿を見かければ、そのことについて対話が始まるかもしれません。

- ・流通網を作る

目指したいのは、ビラの発行元から一方的に情報が流れるのではなく、このネットワーク上であらゆる方向に情報が流れていくことです。